

事業所名 児童デイサービスいろは(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7年

3月

1日

法人(事業所)理念	・満足する福祉 ・貢献する福祉 ・最新の福祉			
支援方針	・子どもひとり1人の色(個性)を大切に、子どもたつの笑顔をはやし可能性を育みます。			
営業時間	9時	0分から	18時0分まで	
	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握 ・基本的な生活スキルの獲得のために、その子なりに身の回りの事が出来るよう支援する。 ・健康な心とからだを育むことに関するプログラムを実施。 ・生活環境及び家族状況を把握し、個々に合った環境を整えられるようご家族とも情報共有を行います。		
		ねらい	健康状態の維持・改善、生活リズムや基本的な生活スキルの獲得	
		プログラム例	健康チェック、定時トイレ誘導、衣服着脱、持ち物の整理整頓、視覚(スケジュール掲示)支援	
	運動・感覚	粗大運動	基礎動作の移動・平衡・操作系動作を習得するプログラムを実施	
		微細運動	つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・とらす・はる・ぬる・はめる・こする・描く・切るに関するプログラムを実施	
		感覚刺激	感覚遊びに関するプログラムを実施	
		姿勢保持	着座を狙いに机に向う課題に取り組み、姿勢保持に必要な体幹部の安定、腹圧の維持に関するプログラムを実施	
		危機管理	危険を察知して自分の身を守る術を身につけ、リスクを最小限にできる身のこなしを習得するプログラムを実施	
		ねらい	姿勢と運動、基礎動作の習得、目と手の協応、手足の協調運動、力のコントロール、保有する感覚の活用、危険管理能力の向上	
		プログラム例	走る、飛ぶ、ボール遊び、なわとび、リズムジャンプ、受け身など	
	認知・行動	・ボディイメージ・色彩・位置空間・弁別・分類・感情・時間・文字・数・図形など概念に関わること、考え方や行動を変える方法を学ぶことに関するプログラムを実施		
		ねらい	認知の発達と行動の習得、空間・時間・数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	
		プログラム例	ボードゲーム、マッチング、弁別、図形、数、色彩、時間に関する課題、SSTなど	
	言語 コミュニケーション	・自己表現・気持ちを相手に伝える手段、相手の言葉の意味や表情の読み取り、指差し、身振り、サイン等の活用 ・人のかかわり方を中心としたコミュニケーションスキルに関するプログラムを実施		
		ねらい	言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎の向上、コミュニケーション手段の選択と活用	
		プログラム例	SST(ソーシャルスキルトレーニング)等	
	人間関係 社会性	・自己の理解とコントロールのための支援、集団参加への支援を中心とした社会・生活スキルに関するプログラムを実施		
		ねらい	地域生活、社会性 他者との関わり、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加	
		プログラム例	地域交流プログラム、SST(ソーシャルスキルトレーニング)等	
	家族支援	・児童の発達に関する相談、助言等 ・家庭生活に関する相談、助言等 ・きょうだい児に関する相談、助言等	・支援内容に関する相談、助言等 ・集団生活に関する相談、助言等 ・制度に関する相談、助言等	移行支援
地域支援・地域連携	・地域の資源(児童館、公民館、高齢者施設)との交流の機会をもち、ふれあい等の機会をもつ。		職員の質の向上	・年間教育研修計画に基づき実施 ①虐待防止②身体拘束等適正化③事故防止④感染症⑤安全計画⑥災害キャリアアップ研修・・・スキルアップ、資格取得、研修の機会の提供
主な行事等	・季節の行事、制作(母の日、父の日、節分、ハロウィン、クリスマス等) ・長期休暇(課外活動、クッキング、買い物体験等)			